

LAPDISC ラップディスク®

医療機器承認番号：21000BZZ00465000 管理医療機器 トロカール装着用カフ



適 応

気腹法による腹腔鏡下手術における
腹壁の小切開創に固定するトロカール装着用カフとして使用

特 長

- ラップディスクは多種多様のタイプがあり、タイプにより最小1.5cmの皮切から最大8cmの皮切に対応します。
- 腹壁に密着して気腹ガスのリークを防止します。
- アイリスバルブは完全に閉じることができるため、再気腹が可能です。
- アイリスバルブの開口部の大きさは無段階に調節できるため、気腹を保持したままいろいろなサイズの器具を挿入し使用することが可能です。
- スカート部は摘出臓器等の腹壁への直接接触を防止し、創縁を保護します。

black®

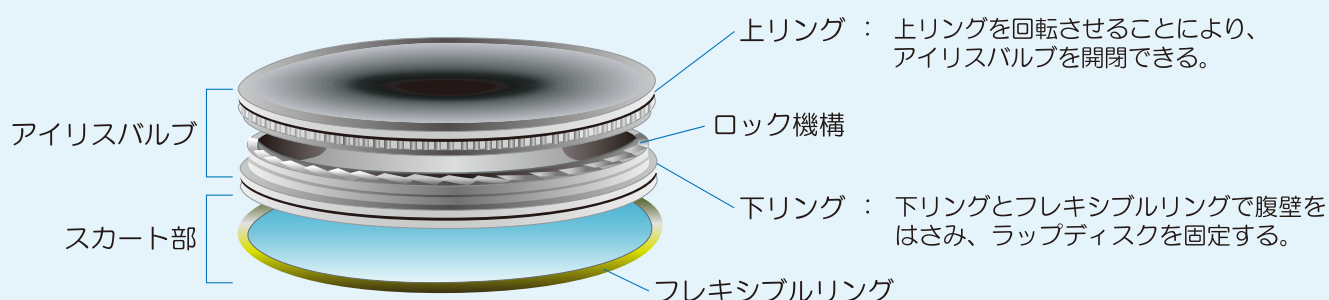
心のかよう医療器ハッコー

本製品は、一回限りで再度のご使用は行わないでください。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

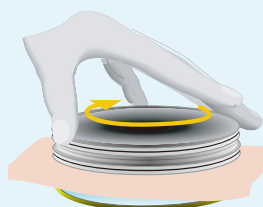
ラップディスク® LAPDISC

構造とアイリスバルブの開閉

<構造>

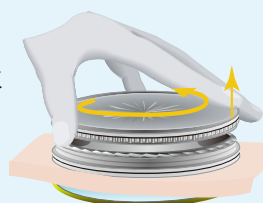


アイリスバルブの閉じ方



- ・「上リング」を時計方向に約2/3回転させると全閉する。
- ・全閉後、「上リング」を反時計方向にわずかに回転させ、上下のリングを確実にロックする。

アイリスバルブの開け方



- ・「上リング」を時計方向にわずかに回転させ、ロック機構を解除する。
- ・解除後、「上リング」を少し持ち上げた状態で、反時計方向に静かに回転させる。

仕様

「＊」は準規格品です。

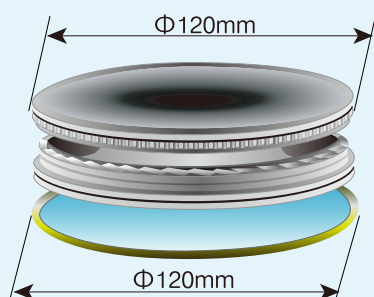
製品コード	タイプ	サイズ（上下リング×フレキシブルリング×スカート部）
29150010	レギュラー	Φ120×Φ120mm
29150020	100mm	Φ120×Φ100mm
29151110＊	セミロング	Φ120×Φ120×40mm
29150050	ミニ	Φ70×Φ70mm
29150070	ミニ50	Φ70×Φ50mm

包装形態

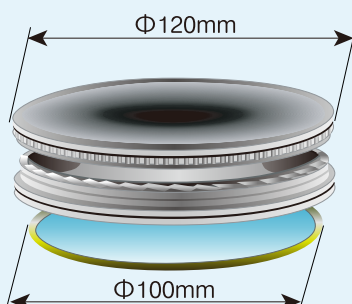
1箱1個入、1個毎ピールオープン包装 EOG滅菌済

＜レギュラータイプ＞

レギュラータイプ
(サイズ：Φ120×Φ120mm)

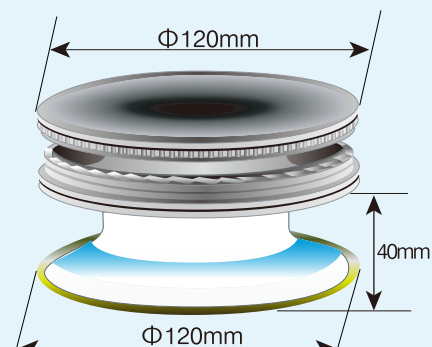


100mmタイプ
(サイズ：Φ120×Φ100mm)



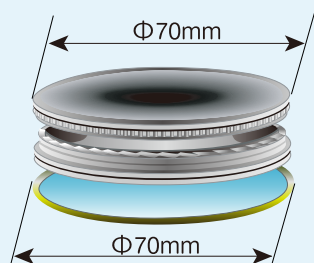
＜セミロングタイプ＞

セミロングタイプ
(サイズ：Φ120×Φ120×40mm)

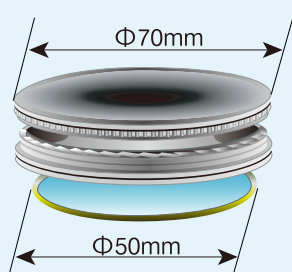


＜ミニタイプ＞

ミニタイプ
(サイズ：Φ70×Φ70mm)



ミニ50タイプ
(サイズ：Φ70×Φ50mm)



腹壁の厚さと皮切および切開創の大きさ

タイプ	腹壁の厚さ	皮切の大きさ	切開創の大きさ
レギュラー	5cm以下	5cm～8cm	6cm～8cm
100mm	5cm以下	3cm～6cm	4cm～6cm
セミロング	4cm～8cm	5cm～8cm	6cm～8cm
ミニ	5cm以下	2cm～4cm	3cm～4cm
ミニ50	5cm以下	1.5cm～3cm	2cm～4cm

本カタログは、製品の紹介を目的として作成されています。
製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。

＜装着準備＞

- 1.フレキシブルリングの一部を反転させ、アイリスバルブを通して上に持ち上げる。(図1)
- 2.フレキシブルリングを上を引き上げる。(図2)
- 3.フレキシブルリングが斜めになった、ハイヒールのような形にする。(図3)
＜装着準備完了＞

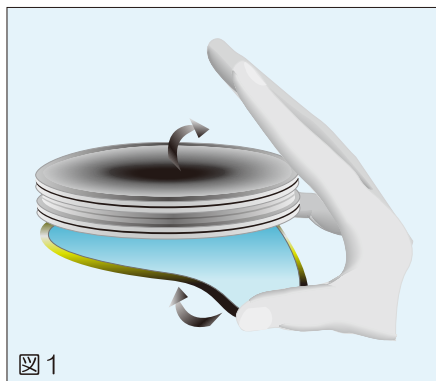


図1

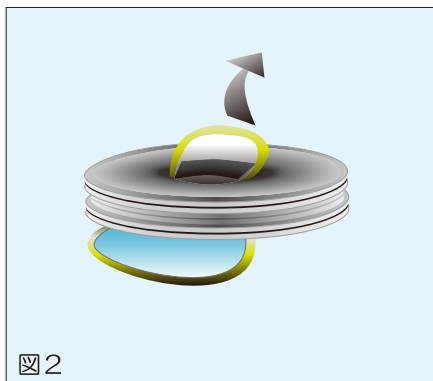


図2



図3

＜装着＞

- 1.皮膚切開を行う。
フレキシブルリングの先端を切開創に挿入する。
(皮切の大きさは各タイプ一覧参照。)(図4)
- 2.フレキシブルリングを腹壁の前側に密着させながら、創内にゆっくり押し広げる。(図5)

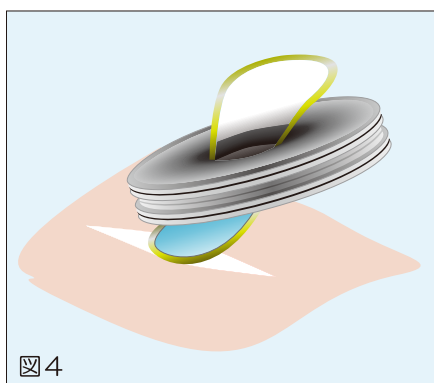


図4

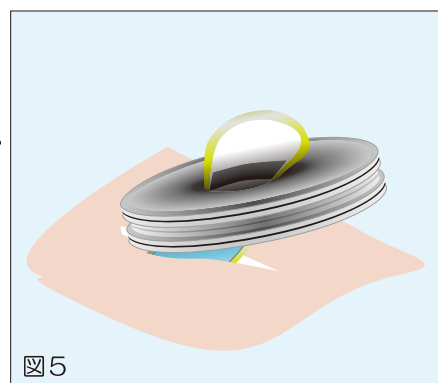


図5

- 3.フレキシブルリングの後端部を反転させるように創内に挿入する。(図6)

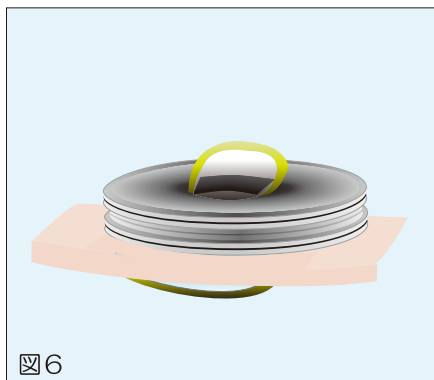


図6

- 4.内視鏡でフレキシブルリングが前腹壁に密着していることを確認する。(図7)

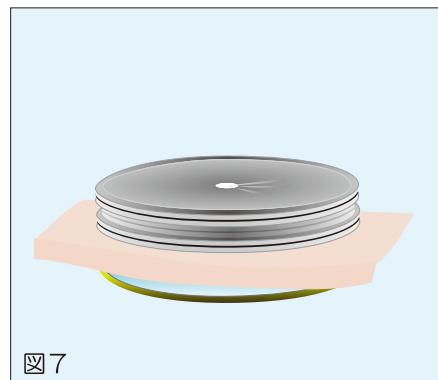


図7

＜取り外し＞

- 1.開放した状態のアイリスバルブから指先を挿入し、腹壁を固定しているフレキシブルリングの一部をつかみ、ゆっくり創から取り出す。(図8)

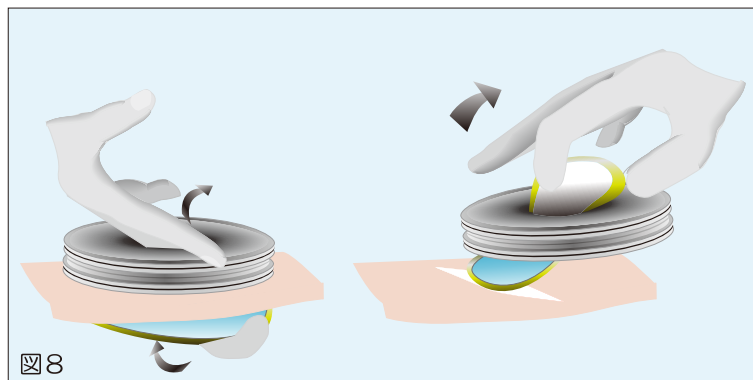


図8